

ホクコーフェスティバル[®]C水和剤

- 種類名：ジメトモルフ・銅水和剤
- 有効成分：ジメトモルフ----- 15.0%
塩基性塩化銅----- 58.8%
[銅として----- 35.0%]
- 化管法指定物質：ジメトモルフ [第2種] ----- 15.0%
ポリ(リン酸) = アルキルフェニル (アルキルの炭素数が9のものに限る。) [第1種] ----- 1.5%

- 登録番号：第19510号
- 毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
- 登録初年：1997.01.31
- 性状：淡緑色水和性粉末 45μm以下
- 有効年限：5年
- 包装：500g×20袋

【特長】

- ベと病、疫病に高い効果を示すジメトモルフに銅を配剤した混合剤。
- ベと病、疫病だけではなく、細菌性病害にも効果がある。
- 既存薬剤耐性菌にも有効である。

【適用内容】(2024年11月末日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジメトモルフを含む農薬の総使用回数	銅を含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	疫病 軟腐病	400~600	100~300	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内	-
きゅうり	べと病	600~800		収穫前日まで				
はくさい		1000		収穫14日前まで				
メロン				収穫前日まで				
キャベツ				べと病 黒腐病				
トマト ミニトマト	疫病	600~800		収穫7日前まで				
たまねぎ 葉たまねぎ	白色疫病 べと病	1000		収穫3日前まで				
かぼちゃ	疫病 べと病			収穫14日前まで				
レタス	べと病			収穫7日前まで				
ねぎ		収穫前日まで						
あずき	茎疫病 褐斑細菌病 茎腐細菌病	600	収穫7日前まで					
だいず	べと病 茎疫病 斑点細菌病 葉焼病	1000	収穫前日まで					
えだまめ			収穫7日前まで					
すいか	褐色腐敗病	1000	100~400	収穫7日前まで				
なす			200~700	収穫30日前まで				
大粒種ぶどう	べと病	600	200~700	収穫45日前まで	2回以内	2回以内		
小粒種ぶどう				収穫45日前まで				

【効果・葉害等の注意】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきることを。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布すること。
- 本剤は茎葉部からの吸収移行性及びガス化による効果はないので、散布むらのないよう均一に散布すること。
- 本剤は予防効果が主体で治療効果は弱いので散布時期を失することなく処理すること。
- 本剤は無機の銅を含む剤であるため、きゅうり、はくさい、メロン、キャベツ、レタスに対して葉害を生じるおそれがあるので、下記の事項に十分注意すること。
- ◆ 幼苗期は特に発生しやすいので、中期以降の散布にすること。

- ◆ 高温期の散布は症状が激しくなることがあるのでさけること。
- ◆ 連続散布すると葉の周辺が黄化したり硬化したりすることがあるので過度の連用をさけること。
- ◆ 炭酸カルシウム剤の所定量の添加は、葉害軽減に有効であるが、収穫間際には収穫物に汚れを生じるので留意すること。
- はくさいに使用する場合は、結球期以降の散布は葉害が生じる場合があるのでさけること。
- ぶどうに使用する場合は葉害を生じることがあるので炭酸カルシウム剤を加用すること。
- 連続使用は耐性菌出現のおそれがあるので、なるべく連用をさけ、作用性の異なる他の剤と組合せて輪番で使用するこ
- 空袋は圃場等に放置せず、環境に影響のないよう適切に処理すること。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 誤飲、誤食などのないよう注意すること。
- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、農業用マスクなどを着用すること。作業後はうがいをするとともに洗眼すること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(魚類、藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきるこ
- ❖ 保管：直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。